

令和元年度補正予算案（防衛省所管）の概要

防衛省計上額 **4, 287億円**

1 国土強靱化のための措置 344億円

台風等の被害を受けた自衛隊施設や災害派遣活動で損耗した装備品等の復旧・整備及び災害対処能力の向上に必要な装備品等を整備するための経費。

- 自衛隊施設（横須賀地区等）の復旧（崩落した護岸等の整備） 41億円
- 装輪車両・施設器材の損耗更新等 40億円
- 固定式自家発電機の整備 13億円
- 航空輸送能力の向上（輸送機の整備の促進） 234億円
- 災害対処能力向上のための資機材（簡易ベッド等） 8億円 等



自衛隊施設の復旧



装輪車両の損耗更新



固定式自家発電機の整備

2 自衛隊の安定的な運用態勢の確保 2, 327億円

我が国を取り巻く安全保障環境や頻発する自然災害に対応するため、装備品等の着実な整備等を行い、自衛隊の安定的な運用態勢を確保するための経費。

- 航空機・艦艇等の維持整備 81億円
- 航空機等の整備の促進 2, 191億円
- 隊員の生活・勤務環境の改善 17億円
- 小型無人機対処器材の整備 22億円 等

3 総合ミサイル防空能力の強化 1, 456億円

弾道ミサイルなどの多様な空からの脅威に対する対処能力の強化に必要な装備品等の整備のための経費。

4 その他の追加財政需要 160億円

- 原油価格の上昇に伴う油購入費・営舎用燃料費の増額 133億円 等